



一般社団法人 九州タクシー無線協会  
〒860-0805 熊本市中央区桜町2番17号  
TEL 096-353-3916 FAX 096-288-1260

## 第58回(令和元年度)通常総会への 皆様のご参加をお待ちしております!



九州タクシー無線協会 福岡支部長 安川 昌彦  
(筑タク運輸協同組合 理事長)

今年度の通常総会は、福岡県（北九州・福岡・筑後・筑豊）が当番で、今回は福岡市で開催します。

5月1日に元号が変わりますので、新しい元号「令和」のもとでの初めての総会となります。

福岡市では総会の直後に G20 財務大臣・中央銀行総裁会議が開催されます。さらに当市は経済特区で航空法が改正され、天神エリアでは老朽化ビルを更新・再開発する「天神ビックバン」計画が進行中です。高さ 100m 超えの高層ビル建設の計画があり、5年後には大きく景観が変わっていることが予想されます。このエリアをじっくり目に焼きつけていただき、5年後に福岡市に来られた時に見比べていただくと時代の流れを実感できるのではないのでしょうか。

さて、タクシー業界は国民の貴重な財産である無線を利用させていただいています。この無線を如何に有効に活用するかを考えなければなりません。現在はタクシー配車のみの利用ですが、これからは時代の要請として、緊急時の情報伝達や電子決済さらには外国人の通訳などのアプリの通信手段として無線の活用法を皆様とともに研究出来たらと思います。

最後になりますが、会員相互の団結を祈りながら、皆様の総会へのご参加を心よりお待ちしております。



### 第58回(令和元年度)通常総会

- 開催日 令和元年6月6日(木)
- 会場 西鉄グランドホテル  
福岡市中央区大名 2-6-60
- 日程 ・通常総会 15:00~17:00  
・懇親会 17:10~18:30

**導入予定はQRコード決済が最多**

当協会では、1月から2月にかけて「タクシー無線の高度化に関する調査」を実施しました。集約結果については、以下のとおりです。

集約状況は、調査票配布 585 会員に対し、309 会員から回答が寄せられました。回答率は 53%（支部別回答率は右表参照）。

支 部	配布数	回答数	回答率
北九州	72	42	58%
福 岡	103	63	61%
筑 後	45	15	33%
筑 豊	24	17	71%
佐 賀	42	17	40%
長 崎	61	46	75%
壱 岐	4	4	100%
対 馬	5	0	0%
佐世保	19	15	79%
熊 本	70	30	43%
大 分	37	16	43%
宮 崎	29	11	38%
北 薩	11	5	45%
鹿児島	45	23	51%
奄 美	18	5	28%
合 計	585	309	53%

**高度化システム・アプリの導入状況・意向**

「導入済み」は、GPS-AVM（69%）、クレジットカード決済（47%）、配車アプリ（33%）の順となっています。GPS-AVM及びクレジットカード決済は以前から実用化されているシステムですので当然の結果でしょう。また、配車アプリも数年前から導入が進められていますので一定の浸透が見られますが、導入済みと導入予定を合わせた割合が導入しないと回答した会員の割合とほぼ同率となっており、配車アプリの導入に対する意向は大きく二つに分かれています。

「導入予定」は、QRコード決済（33%）が最も多く、他のシステム・アプリは約10%以下となっています。QRコード決済については、導入済みと導入予定を合わせると45%となり、インバウンド対応の必要性や安価で導入できるメリット等から数年後には導入率50%を超えるものと予測されます。

「導入を検討中」は、電子マネー決済（41%）、多言語翻訳（39%）、AI需要予測システム（32%）、QRコード決済（30%）の順に多く、AVM-GPSを除く他のシステム・アプリも20%台となっています。電子マネー決済をQRコード決済と比べると、導入予定までいかに多くが検討中に留まっているのが特徴的で、導入経費がネックとなっているものと思われます。

一方、「導入しない」は、AI需給予測システム（62%）、車内Wi-Fi（60%）、車内デジタル広告（56%）、多言語翻訳（44%）、配車アプリ（35%）と、いずれも選択肢中最も高率となっています。このことから、キャッシュレス関係以外の高度化システム・アプリについては、全体的にはなかなか導入が進まないものと予想されます。

集計結果一覧表及び高度化システム・アプリごとの集計グラフは3～4ページのとおりです。

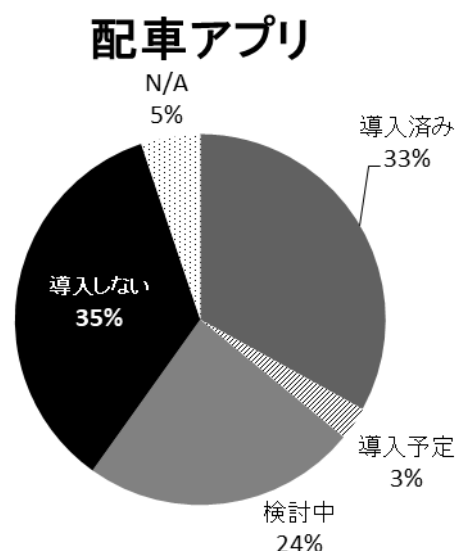
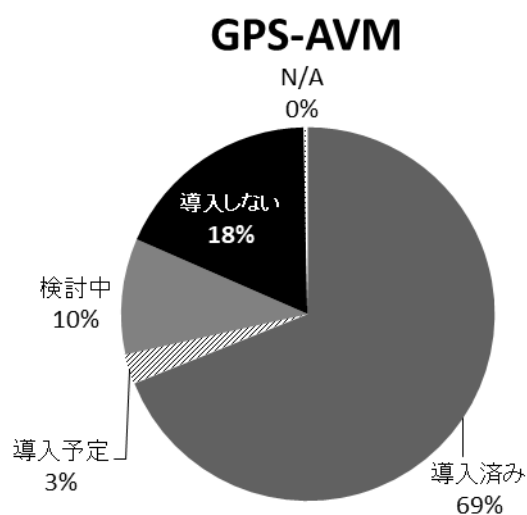
当協会では、理事会等で今回の調査結果を分析のうえ、今後の事業計画に反映させて具体的な取り組みを行っていくこととしています。

ご多忙中にもかかわらず、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答いただきました会員の皆様に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

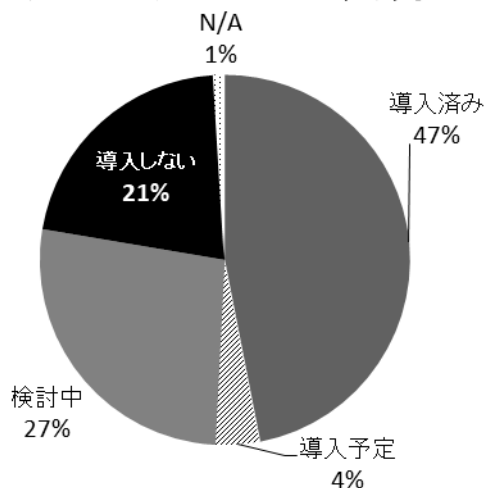
### 集計結果一覧表

選 択 肢	GPS-AVM	配車アプリ	クレジット カード決済	電子マネー 決済	QRコード 決済	多言語翻訳	AI需給予測 システム	車内デジ タル広告	車内Wi-Fi
導入済み	213	102	145	31	36	19	1	5	8
導入予定	8	9	12	36	102	17	0	25	6
検 討 中	31	74	83	126	94	119	98	89	91
導入しない	56	108	66	104	65	136	191	172	185
N/A	1	16	3	12	12	18	19	18	19
計	309	309	309	309	309	309	309	309	309

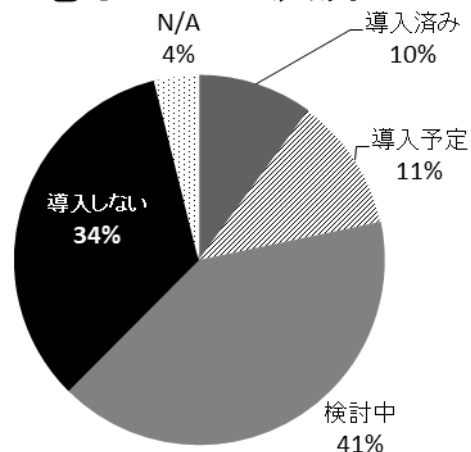
[注] N/A: 空白等で集計できないデータ(Not Available)



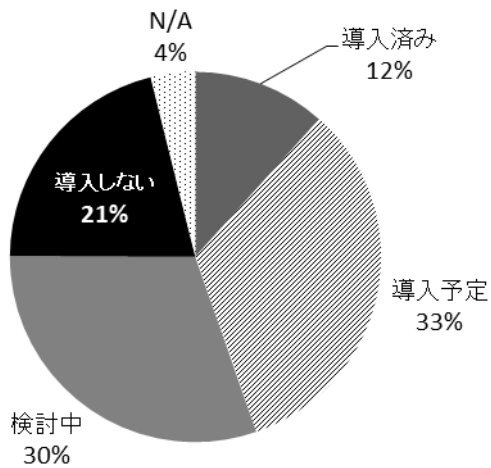
#### クレジットカード決済



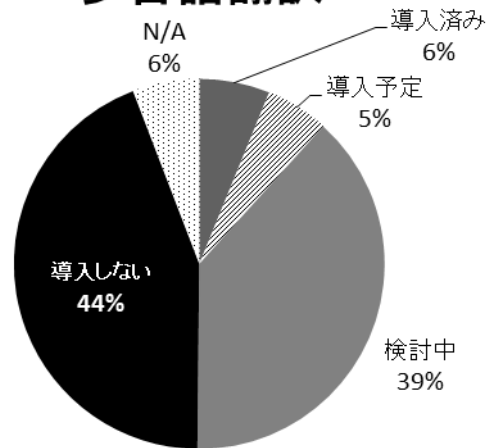
#### 電子マネー決済



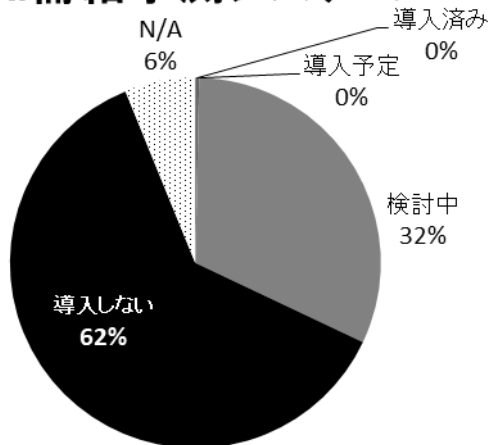
## QRコード決済



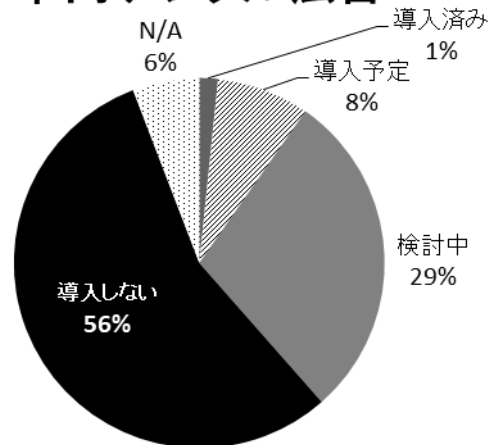
## 多言語翻訳



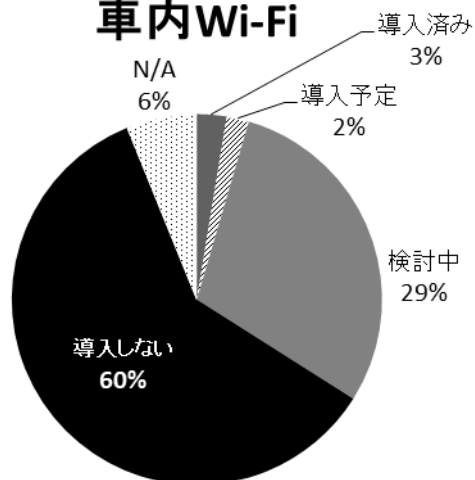
## AI需給予測システム



## 車内デジタル広告



## 車内Wi-Fi



### 編集後記

IP無線を含むタクシー無線は、従来の配車業務のみならず、キャッシュレス決済やインターネット接続の伝送路としてのツールへと用途を拡大しつつあります。特にキャッシュレス化は、国の消費税還元ポイントや決済機の無料提供に加え、某〇〇Payの手数料無料化など話題が尽きません。導入費、手数料、通信費等のコストと国民の利用動向は最も気になるところ。慎重な見極めが求められます。【事務局】